

防除活動 民間団体等の取り組み

対象種 セイタカアワダチソウ、ウシガエル、アメリカザリガニなど

● 都沢湿地保全クラブ「かえるの会」【山形県鶴岡市】

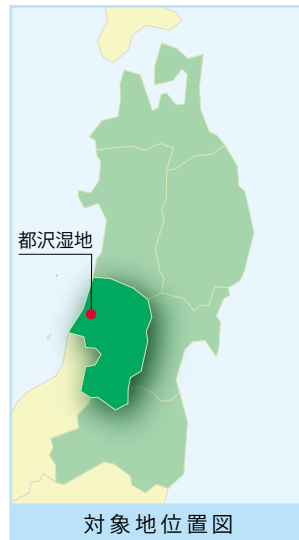
URL <http://www.city.tsuruoka.lg.jp/011200/>

平成20(2008)年にラムサール条約に登録された大山上池・下池東側の都沢湿地を対象に、生物観察と保全活動、湿地内外の外来動植物の駆除及び大型草本(ヨシ・マコモ)の刈り取りによる管理を実施しています。



都沢湿地

- 対象地
鶴岡市が市民の学習・交流の場として整備を行っている「庄内自然博物館(仮称)」の重点整備区域に位置する約8haの低湿地です。周囲は大山上池・下池や「森林浴の森百選」に選ばれている高館山があり、人里に近いにもかかわらず、多様な生態系を有しています。



対象地位置図

● 被害状況

都沢湿地は、数年前から植生遷移による乾燥化に伴う外来植物(セイタカアワダチソウ・オオブタクサ等)の繁茂が確認されています。また、湿地性の多様な生物の生息・生育環境を適正に維持するため、湿地内の攪乱を計画的に実施していますが、その過程で外来生物(ウシガエル・アメリカザリガニ)が増加したため、在来生物への影響が懸念されています。

● 取り組みの概要

都沢湿地の適正な維持と市民への啓発を兼ねて、平成18(2006)年度から、庄内自然博物館(仮称)構想地域推進協議会専門委員会のもと、湿地保全サポーターを募集し、都沢湿地保全クラブ「かえるの会」として、外来生物の駆除や大型草本の刈り取り、自然学習会等の保全活動を年4～5回行っています。平成21(2009)年には、報告会を兼ねて、捕獲したウシガエル・アメリカザリガニの試食会を開催しています。



アメリカザリガニの駆除方法を参加者に説明



駆除したアメリカザリガニと里芋



駆除したウシガエルのリゾット

● 山形県の取り組み

山形県では、平成15(2003)年度より、県内のため池において、漁協や地元市町村との連携により、オオクチバスの駆除活動を行っている他、オオクチバスによる捕食被害の実態を把握するため、内水面水産試験場による胃の内容物の調査も併せて実施しています。

また、在来植物の保全の観点から、同県最上郡戸沢村において、地域の専門家の助言に基づき、アレチウリの駆除対策(委託事業)も実施しています。

対象種 ウチダザリガニ

● わかば自然楽校【福島県耶麻郡北塩原村】

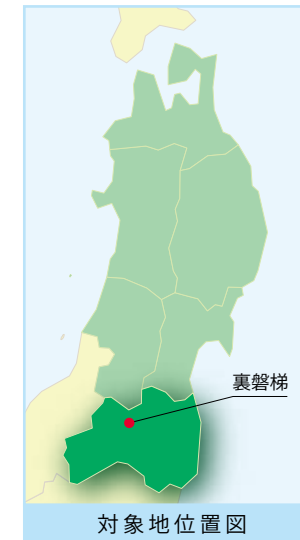
URL <http://www.wakaba-kankyo.com/>

会津・磐梯エリアで実践を中心とした環境教育に取り組んでいるNPO団体です。磐梯朝日国立公園内のキャンプ場内の河川で、近年本州で分布を広げつつあるウチダザリガニの駆除を行っています。



裏磐梯

- 対象地
裏磐梯には、1888年の小磐梯山の噴火によって形成された湖沼群をはじめ、大小300を超す湖沼群があるといわれています。裏磐梯の湖沼は、雄国沼のニッコウキスゲの大群落に代表される湿原植物群落などの美しい水辺景観を創出しています。



対象地位置図

● 被害状況

裏磐梯では、現在のところウチダザリガニによる大きな被害は報告されていませんが、その分布は広がりつつあり、水生生物の捕食やミズカビ病の媒介など従来の水生生物への影響が懸念されています。また、裏磐梯の下流に位置する猪苗代湖は、日本海側と太平洋側の両方へ河川や水路で流出するため、裏磐梯を発端にウチダザリガニが他の地域へ大きく広がってしまう可能性があります。

● 取り組みの概要

環境教育の一環としてウチダザリガニなどの外来生物の駆除活動を行っています。駆除活動の主役は地域の子供達です。子供達は駆除活動を通じて「なぜ外来生物が問題なのか」を学びます。子供達が楽しんで参加できるように、駆除活動の後にはウチダザリガニを参加者で調理して試食するイベントを開催しています。



ウチダザリガニ



ウチダザリガニの駆除活動

● 福島県の取り組み

福島県では、野生動植物の生息・生育情報を広く収集するため、平成17(2005)年に「福島県野生動植物保護サポーター制度」を創設しました。サポーターは、一般公募された県民で構成されており、それぞれの活動地域における希少動植物や外来種の生息・生育状況などの調査、報告を行っています。

また、平成18(2006)年に実施した特定外来生物の分布状況の調査結果と、その後のサポーターからの情報を基に、特定外来生物の継続的な分布状況の把握に努めています。